

2022 年度 国際園芸博覧会調整支援等業務委託のプロポーザルに係る
提案書評価基準

表 1 の評価項目及び配点ウェイトのもと、評価を行います。
各評価項目の評価の着目点は表 2 のとおりとします。

表 1 基本的事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価	評価点
業務実績 (40 点)	管理技術者	同種又は類似の業務の実績の内容	20		
	担当技術者	同種又は類似の業務の実績の内容	20		
提案内容 (100 点)	特別規則について、国際園芸博覧会が目指す目標像を十分に理解した上で、業務の実施方針、作成作業の進め方（協会内及び関係機関との調整を含む）や工程管理に関して、適切で具体的な提案がされているか。		40		
	基礎的諸元について、今後整理すべきと考えられる内容を明確にし、その検討の視点と方向性が提案されているか。		30		
	全体調整支援について、各課検討内容の整合性や実現性の検証の方法や確認方法、工程管理に関して、適切で具体的な提案がされているか。		30		
ヒアリング (40 点)	理解力や専門技術力があるか		20		
	取り組み意欲が感じられるか		20		
ワーク・ライフ・バランスに関する取組等 (6 点)	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算）		1		
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 301 人未満の場合のみ加算）		1		
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定の取得（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク）、又は女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定の取得（えるぼし）		1		
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得		1		
	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.3%を達成している（従業員 43.5 人以上）、又は障害者を 1 人以上雇用している（従業員 43.5 人未満）		1		
	健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得		1		
評価点の合計（186 点）					

評価方法

- (1) 業務実績は、A、C、Eの3段階評価を行う。
- (2) 提案内容及びヒアリングは、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。
- (3) 評価点については、次のように配点を行う。
配点にA=5/5、B=4/5、C=3/5、D=2/5、E=1/5を乗じて算出する。

ア 業務実績の各項目

配点 20点 A=20点、C=12点、E=4点

イ 提案内容及びヒアリング

配点 20点 A=20点、B=16点、C=12点、D=8点、E=4点

配点 30点 A=30点、B=24点、C=18点、D=12点、E=6点

配点 40点 A=40点、B=32点、C=24点、D=16点、E=8点

- (4) ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、各項目を1つ満たすごとに1点を加算する。
- (5) 提案内容とヒアリングの評価項目において、D、E評価のあるものは原則として選定しない。
- (6) 評価点について最上位の者が2者以上同点となった場合には、評価委員会にて採択を行い、最上位を決定する。
- (7) 業務実績及びワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、1者ごとに事務局が評価を行い、評価委員会で承認を行う。
- (8) 提案内容及びヒアリングは、1者ごとに各評価委員が評価を行う。
- (9) 業務実績、提案内容、ヒアリング及びワーク・ライフ・バランスに関する取組等の評価点の合計を評価委員全員分集計し、その合計点を当該提案者の評価結果とする。
- (10) 評価点は、評価委員1名につき満点で186点とし、評価委員全員の合計で186点×5名=930点で満点とする。
- (11) 共同企業体を組成する場合、業務実績は、1者以上の構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (12) 共同企業体を組成する場合、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、代表者たる構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (13) 評価委員が欠席した際には、その委員の評価点は無効とし、委員会に出席した委員のみで評価を行う。
- (14) ヒアリングを実施しなかった場合には、ヒアリングに関する評価はC（40点×3/5=24点）とする。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		A	B	C	D	E
業務実績	管理技術者	同種又は類似の業務の実績は十分か	大阪・関西万博や愛知万博等の国際博覧会又は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の企画・立案に関する業務実績を有する	/	地方博覧会や全国都市緑化フェア等の国内大規模イベントやテーマパーク等の大規模集客施設の企画・立案に関する業務実績を有する	/	A又はCに該当しない
	担当技術者	同種又は類似の業務の実績は十分か	大阪・関西万博や愛知万博等の国際博覧会又は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等の企画・立案に関する業務実績を有する	/	地方博覧会や全国都市緑化フェア等の国内大規模イベントやテーマパーク等の大規模集客施設の企画・立案に関する業務実績を有する	/	A又はCに該当しない
提案内容	【提案1】 特別規則について、国際園芸博覧会が目指す目標像を十分に理解した上で、業務の実施方針、作成作業の進め方（協会内及び関係機関との調整を含む）や工程管理に関して、適切で具体的な提案がされているか		十分に理解した具体的で実現性が高く、かつ創意工夫された提案である	一定程度理解した具体的で実現性が高い提案である	どちらともいえない	提案の一部が具体性や実現性に欠ける	提案がまったく具体性や実現性に欠ける
	【課題2】 基礎的諸元について、今後整理すべきと考えられる内容を明確にし、その検討の視点と方向性が提案されているか		明確な整理内容で、検討の視点と方向性は具体的である	一定程度明確な整理内容で、検討の視点と方向性は具体的である	どちらともいえない	やや明確でない整理内容で、検討の視点と方向性の一部は具体性に欠ける	明確でない整理内容で、検討の視点と方向性は具体性に欠ける
	【課題3】 全体調整支援について、各課検討内容の整合性や実現性の検証の方法や確認方法、工程管理に関して、適切で具体的な提案がされているか		具体的で実現性が高く、かつ創意工夫された提案である	一定程度具体的で実現性が高い提案である	どちらともいえない	提案の一部が具体性や実現性に欠ける	提案がまったく具体性や実現性に欠ける
ヒアリング	理解力や専門技術力があるか		十分な理解に基づいた的確な提案である	—	どちらともいえない	—	理解が乏しい提案である
	取り組み意欲が感じられるか		強い意欲が認められる	—	どちらともいえない	—	意欲が認められない